

# 国際広報メディア専攻

平成22年度  
前期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開いてはならない。
- 2 問題用紙は、この紙を含めて2枚ある。
- 3 解答用紙（25字×40行=1000字）は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 7 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 8 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 9 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題1～3のうちから1題を選択し、1600～2000字の日本語（横書き）で解答しなさい。

【問題1】

公共の福祉、公共性、公共空間、公立学校、公務員、公私混同など、「公」という言葉は様々な意味どニュアンスをともなって用いられる。具体的な例をあげて、その事例における「公」の持つ意味を論じなさい。

【問題2】

オバマ大統領は、「米国は、核を使用した唯一の核保有国として行動への道義的責任がある。核兵器のない世界に向け、具体的な方策をとる」として、核廃絶への具体的な道筋を示した。しかし、北朝鮮が核実験を行い、イランも核兵器開発を疑われているように、核廃絶に向けて国際的な合意を見いだすのは容易ではない。「核のない世界」への展望について、意見を述べなさい。

【問題3】

日本国内での英語教育や日本国外での日本語教育のような「外国語として言語を学ぶ環境」では、その言語を実際に使ってコミュニケーションできる機会があまりないことが問題になる。では、その問題を解決するためには、どのような方法があるか。具体的な方法を複数あげ、比較検討しなさい。実施上の留意点に言及すること。